

## 今週の言葉



キャリア設計ゼミ担当 栗生 実

## コンピュータ技術革新でなくなる仕事・残る仕事

- ①電話販売員 ②不動産登記の審査・調査 ③コンピュータを使ったデータの収集・加工・分析 ④証券会社の一般事務員 ⑤車両を使う配達員  
⑥簿記・会計・監査担当者 ⑦レストランやラウンジ、コーヒーショップの店員  
⑧レジ係 ⑨銀行の新規口座開設担当者 ⑩スポーツの審判 ほか

これらは、技術革新により今後10～20年後になくなる可能性が高い仕事です。このリストの元となる英オックスフォード大学のオズボーン准教授らの論文「雇用の未来」では、米国総雇用者の約半分が、仕事が自動化されるリスクが高いと結論付けています。ある人工知能（AI）は偏差値47.5を誇り、私大の8割に合格する実力をもちます。これが偏差値55に達すると、文章をまとめる仕事が可能となり、ホワイトカラー層の仕事の一部が奪われていく可能性が出てきます。また、体を使う仕事も例外ではなく、車の自動運転やドローンの発達は物を運ぶ仕事を人から奪うのではとの危惧もあります。ただ、人間の仕事をすべて奪っていくわけではなく、仕事における人間とAIのすみわけが変わっていくと思われまます。しかしながら、これから先20～40年働く皆さんにとっては、どんな仕事が残るのかは気になるでしょう。例えば、ビジネスホテルなどの安価な施設はAI搭載の無人受付となり、高級ホテルなどの高価な施設は人が対応し付加価値となる、またウェディングプランナーなどの人にやってもらいたい仕事も残ると指摘されています。

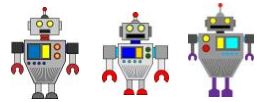


両者のすみわけが進むとAIと親和性の高い働き方が求められるが、「変化を受け入れ、適応する。これこそが人間がAIより優れている部分である」とであると未来の可能性を信じる言葉もあります。「雇用の未来」では、以下の仕事が10～20年後も残る仕事として挙げられています。

- ①整備・設備・修理の現場監督者 ②栄養士 ③宿泊施設の支配人 ④教師  
⑤博物館や美術館などの展示企画担当者 ⑥運動競技の指導者 ⑦セールスエンジニア  
⑧医療ソーシャルワーカー ⑨コンピュータシステムアナリスト ⑩人事管理担当者 ほか

皆さんも将来も続くと信じられる仕事を探して下さい。そして、残念なことになくなる可能性がある仕事に就いてしまっても、果敢に変化を受け入れ、適応できる力を大学生活を通じて身につけ、社会に出て下さい。

(参考)「AIでなくなる仕事」『AERA』2015年06月15日号



## 就活、夏の陣

先日、マイナビ編集局から、2016卒の就活動向を聞く機会がありました。現在の就職戦線は、「非指針企業」（8月試験開始の申し合わせを守っていない会社）の採用活動は、ほぼ終息。次のステージは、「指針企業」（8月試験開始の申し合わせを守っている会社）が動き始めているとの分析でした。いよいよ本格的な就職戦線になります。就職フェアなども各地で本格的に開催されます。

お知らせです。夏休み、地元の就職フェア（合同説明会）情報です。



月 日	就職フェア	開催場所	
綾部 8/ 9 (日)	あやべ就職応援フェア	綾部ホテル	13:30～
舞鶴 8/10 (月)	ふるさとコールMAIZURU	舞鶴市商工観光センター	13:30～
福知山 8/11 (火)	ふくちやま就職フェスタ2015	ホテルロイヤルヒル福知山	13:30～
京丹後 8/12 (水)	たんご就職フェア	野田川ワークパル	13:30～